

運営体制（案）

- 幕張新都心における新たなサービス創出や既存資源の最適化に向けて、検討を進めてきた。
- 特に議論すべきテーマがある場合にはPTを設置し、関連や知見のある会員により集中的に議論してきた。
- 一方、各WGが見据える想定実装時期の違い等により、検討のスピード感が異なっていると同時に、議論を深めるためにはより多角的な視点から知見を寄せ集めていく必要がある。
- 2023年春の幕張豊砂駅開業を見据えると、特に開業時に実現可能なサービスや連携を集中的に検討していく必要がある。並行して、中長期的（～2025、26年）に検討すべき事項についても意見交換を進めていきたい。

- これらの動きに対応するため、WGをモビリティサービスの導入・高度化を検討するモビリティWGとサービスの最適化・一体化を検討する横連携WGに再編することとしたい。



- 組織体制の位置付けとしては、WGは検討内容の共有、進捗管理を主な役割とする。一方、2022年度に議論すべきテーマについては別途PTを設置し、会員の積極的な参画（情報提供、意見集約等）により、検討深化を主な役割とする。
- 運営にあたっては、専門的なノウハウを有する事業者からの支援も得ながら、効率化や対外的発信拡充による機能強化を検討したい。

WG幹事の募集

- WG幹事については、受託いただける会員を新たに募集したい。
- 任期は2022年度（4月1日～3月31日）とし、2022年3月中に役割等をお示した上で募集する。
- 募集締切後、コンソーシアム内の了解を得た上で、決定する。
- 決定後、各WGの運営について事務局等と協議を開始する。